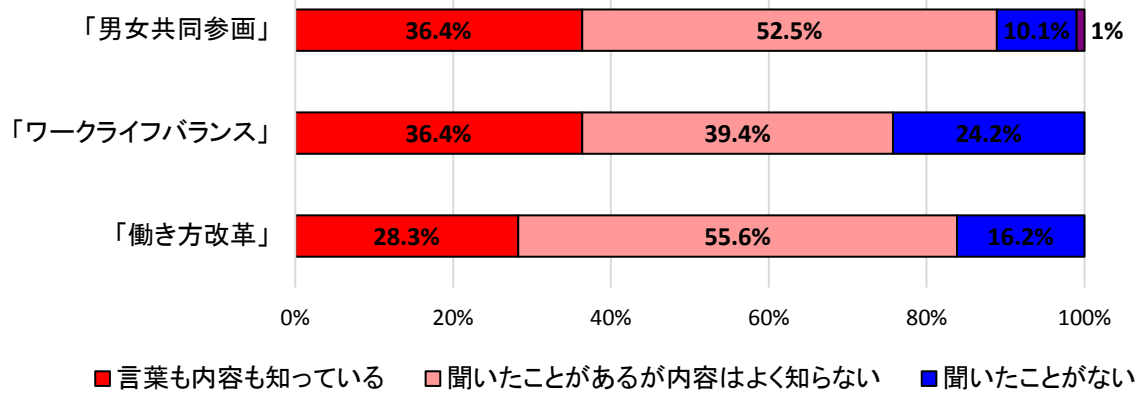


<平成30年度 医と社会Ⅲ学生キャリア講習会 講義前後アンケート結果>

【次の言葉を知っていますか？(講義前)】

N=99 (人)

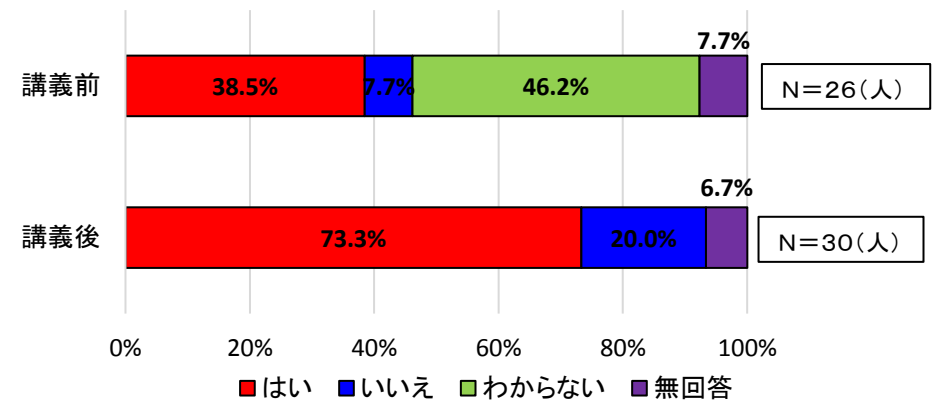
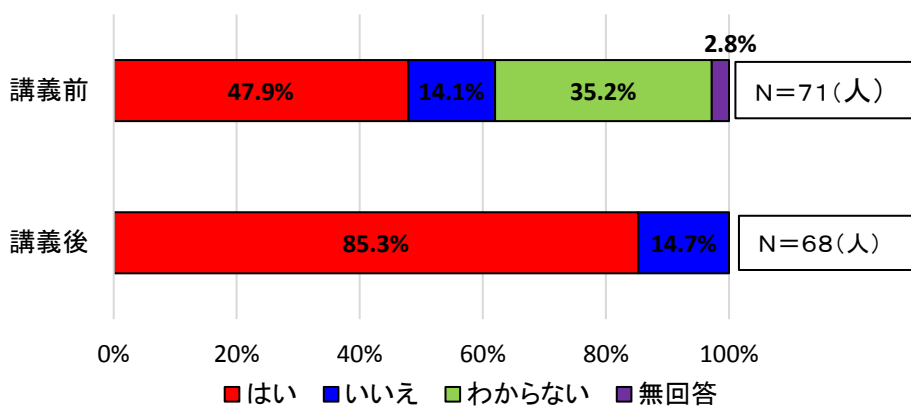


●平成30年度を受講予定者126名のうち、男子学生は95名、女子学生は31名(女子学生率24.6%)でした。「男女共同参画」の言葉も内容も知っている割合は、平成28年度以降35%前後を推移しています。「ワークライフバランス」の言葉も内容も知っている割合は、平成26年度～29年度の4回の講義では20%前後でしたが、今年度は36.4%と最も高い結果となりました。また、「働き方改革」の言葉も内容も知っている割合は3割にとどまりましたが、聞いたことがあると答えた割合は「ワークライフバランス」を上回り、ニュースや新聞を通して言葉を知った学生が多かったです。

●現時点での将来の不安については、講義の前後で、不安がある割合が減り、不安がない割合が増える結果は、これまでの講義と同様でした。講義後に、講義前と比べて不安が減った・無くなったと答えた割合は50%でした。将来に対する不安の内容としては、一番多かったのが「勤務地」(19.2%)でした。次に「診療科の選択」(16.2%)、「仕事と生活の両立」(16.2%)と続きました。

【自分も育休を取ってみたいですか？(男子のみ)】

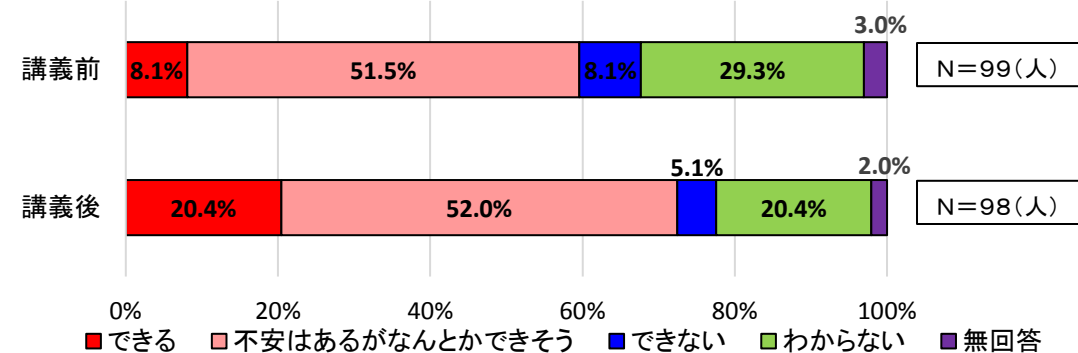
【パートナーに育休を取ってもらいたいですか？(女子のみ)】



●「産休」「育休」の言葉は90%以上の認知度があり、男性も育休を取れることを知っている割合は86.9%でした。講義前の「自分も育休を取ってみたい」男子学生の割合は、平成26年度からの講義の中で一番高い結果でした。

●将来の進路を決定するときに重視するもの(3つまで選択)のランキングでは、1位は講義前後ともに「仕事の内容」、次に講義前は「その領域の研究に興味がある」「やりがい」と続き、講義後は「やりがい」「希望するライフスタイルが得られる」となりました。

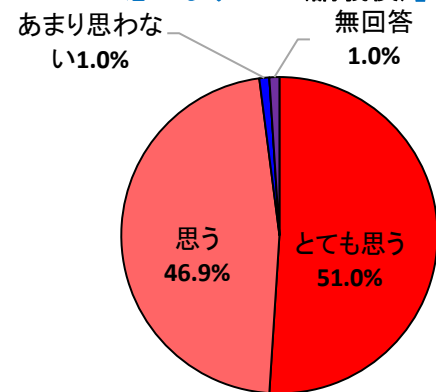
【医師や研究者になって結婚・子育てするようになった場合、仕事と生活を両立できると感じますか？】



●生活と仕事の両立については、講義前→後で「できる」8.1%→20.4%へ、「なんとかできそう」51.5%→52%へと増加して、講義後の両立への自信は70%以上でした。「できない」「わからない」の割合はいずれも講義後に減少し、また、今回の講義が将来役に立ちそうだと答えた学生は86.7%となり、講義の意義があったと感じました。

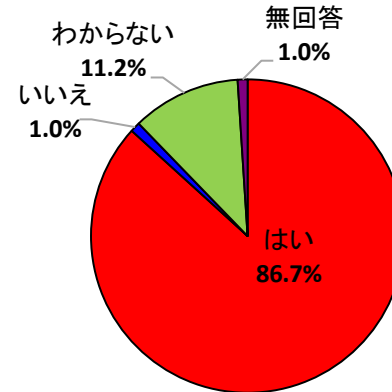
【ワークライフバランスの考え方は重要だと思えますか？(講義後)】

N=98(人)



【今日の講義は将来役に立ちそうですか？(講義後)】

N=98(人)



●学生からは以下のような感想がありました。
 ・将来起こりうる事態のことが多く、考えさせるようなことがたくさんあった。(男性)
 ・卒後のことなんてまだまだの感じがしていたが、数年後に迫ってきていることを改めて感じて焦ったが、今日の話聞いて不安もあるけど将来が楽しみという気持ちが出てきました。(女性)
 ・自分は誰かに相談するということがあまり得意ではないので、今後相談できるようにしていきたいです。(男性)
 ・色々な先生方のお話を聞いて自分の中の働き方のケースを増やせた。実際現場の先生方も答えが見つからない働き方の現状を、どうにか変えていけないものかと思う。男性医師の話をもっと聞きたい。(女性)
 ・普段の座学と違って人生観がとても変わりました。(男性)